

第 55 回インテリア設計士資格検定

<1 級学科試験・論文課題>

日本人の生活様式が和風から洋風へと変化して、今まさに日本人のインテリアは成熟社会の中にある。こうした状況の中で、インテリア設計士他、インテリアの専門家たちの果たす「社会的役割や責務」について、あなたの意見を述べなさい。

1. 試験時間：1 時間 30 分（午前 10 時 30 分～正午）
2. 記入用紙：配布された指定の論文用紙に記入する。文字数は 800 字以上 1000 字未満とする。
3. 注意事項
 - (1) 論文用紙に、受験票に記載の協会名(都道府県名のみ)と受験番号を必ず記入してください。
 - (2) 試験監督員の「開始」の合図に従って書き始めてください。
 - (3) 質問があるときは、黙って手をあげてください。ただし、原則として質問にはお答えできません。
 - (4) 試験終了時間前に解答ができあがった場合は、試験監督員の指示に従ってください。
 - (5) 「終了」の合図と同時に終了し、論文用紙を監督員の指示に従って提出し、速やかに退室してください。
 - (6) 参考資料、原稿、コピー等の持ち込みはできません。
 - (7) 課題用紙(この用紙)は持って帰ってください。
 - (8) 手洗いに立ちたいときは黙って手をあげ試験監督員の指示に従ってください。ただし、原則として学科試験中のトイレ休憩は認められません。
 - (9) 携帯電話の電源は、必ず切っておいてください。

受験 支部	[都道府県名のみ記入]	受験 番号	
----------	---------------	----------	--

第55回インテリア設計士資格検定試験

<1 級 論 文 解 答 例>

<課題> 日本人の生活様式が和風から洋風へと変化して、今まさに日本人のインテリアは成熟社会の中にある。こうした状況の中で、インテリア設計士他、インテリアの専門家たちの果たす「社会的役割や責務」について、あなたの意見を述べなさい。
※文字数は800字以上1000字未満とする。

1/3

課題のとおり、現代の日本人のインテリアは和風から洋風へと変化し、成熟した状況にある。かくいう私は公団住宅に生まれ、家具といえばちゃぶ台、建具は襖、床は畳という典型的な日本の住宅で育ったが、現在の仕事における顧客の要望は多岐にわたっている。アメリカ映画から郊外の豊かな住環境、旅行ブームによるヨーロッパの歴史あるインテリアの流入、そして最近のデンマークなど、北欧のデザイン先進国のショップの開店などで消費者サイドの情報は溢れており、要望のレベルも、かなり高くなっている。

建築において、インテリアのデザインも建築士が手がける方が統一感が得られると思う

100

200

が、近年厳しくなった法規や構造計算に追われ
れる建築士にとって、インテリア計画にまで
手が回らない、というのが現状であろう。

300

そこで我われインテリアの専門家は、デザ
インや個々の商品に興味を惹かれがちな消費
者の要望と、安全に気を配る建築士の間で双
方の要求をかなえるデザイン（設計）ができ
るかが問われることになるのである。

400

具体的に述べると、顧客の家族構成から、
子供たちがすくすく育つ家、年寄りが安心し
て暮らせる家などという要望に対し、手すり
の高さや設置の提案、床や壁材料の選定、北
政風の暮らしに憧れるオーナーへの家具のチ
ョイスから照明・ウインドウトリートメント
計画まで提案するなど、安全の中にも便利さ
を、デザインの中にも安全性を考慮した設計
が求められるだろう。

500

600

以上のように、インテリアの専門家には、

現代のインテリアの最新情報（トレンド）を熟知しつつ、ライフサイクルにおける安全面やランニングコスト、イニシャルコストなどの経済面にも気を配った計画を、誠実に行うことが求められる。

700

これらの内容を完全にこなすことを最低限の責務とし、それ以上の喜びを顧客に届けることを目指す。それがインテリアの専門家としての役割であると思う。

800

最後に私自身が「それ以上の喜び」として考えるキーワードが「美しさ」である。

「美しさ」は人間が最後に求める最高の欲求であると思う。最初は打ち合わせの挨拶から、提案内容の美しさ、工事・仕上がりの美しさなど、美しい仕事は必ず顧客の心を打つと思う。最後は、自分自身の仕事への取り組み姿勢になってしまったが、これが私の考える「社会的役割と責務」である。

900

1000